

令和5年度第1回箕面市通学区域審議会の内容について

■諮問事項

- ① 船場新設校が施設一体型小中一貫校となった場合の通学区域の設定について
- ② 交通環境や地域生活など学校を取り巻く外部環境の変化及び過去に課題とされた地域の現状の確認について

■諮問事項①の審議について

- ・ 校区の見直しは必要なさそうだが、以下のことについて事務局が示した上で、答申をしていきたい。

- ① 中小学校の児童の途中合流に対して、どう対処していくのかの説明をしっかりといただきたい。
- ② 校区面積と学校敷地面積の指標について、校種変更があっても一緒だと言えるのか。
- ③ 今後の児童生徒数の予測を示してほしい。
- ④ 第五中学校が新設小学校の場所に移転することにより、通学の条件はどのように変化するのか。
- ⑤ 校種変更による建設コストの内訳を示してほしい。
- ⑥ 中小学校区に居住する新設の小学校に近い児童への特例措置のような対応について、教育委員会の考えはどうか。

■諮問事項②の審議について

- ・ 過去の審議会の議論で決めた大きな方針（指標の考え方や指標に基づく議論の経過）は大事にしながら、子どもの通学の安全性等々のところ、あるいは地域活動との整合性というあたりは、もう一度きっちりと精査をしながら議論していくという方向で進めていく。
- ・ 「外部環境の変化や過去に課題とされた地域の現状の確認」については、教育委員会としての考え方を示すこと（現状とその対応方針など）。